



NSK 富山株式会社 様

風力発電や鉄道車両、建設機械などに組込まれるベアリング（軸受）の部品製造を担っています。信頼性と効率を向上させる軸受の部品製造を通じて社会の発展と環境保全に努めています。

導入事例 封入封緘サービス

作業時間90%以上削減！

給与業務改善に向けた取り組みとは？

毎月時間に追われた給与業務。効率化を目指し「封入封緘サービス」を導入しました。煩雑な作業の削減を実現するとともに社員のスキルアップにつなげた事例をご紹介します。

取材協力

総合管理部長 池田 拓馬 様

管理課係長 辻 美千代 様

管理課 老 香織 様

管理課 松本 和 様

導入事例
完全版を見る



課題

- ・ 手数の多い作業の削減
- ・ 余裕を持った業務の時間配分
- ・ 事業拡大・人員増でも変わらぬ業務体制

効果

- ・ 90%以上業務削減！たったの5分に
- ・ 時間に追われず作業が行えるように
- ・ 人員増加に耐えうる業務量に

ー検討のきっかけを教えてくださいー

HCSの担当者さんに提案いただいたことです。当時、事業拡大により従業員数を2倍にする増員計画があったため、給与業務の対応が追いつかないのではと危機感がありました。そのため定型作業だった給与明細書の発行を外部委託しよう決めました。



ーどのような課題をお持ちでしたか？ー

当時は従業員数180名。給与明細書の印刷から、折込・封入・糊付け・押印・配送まで全て手作業で行っていました。給与の

計算完了から支給日までたったの2日間です。複数名で作業していましたが、印刷から押印まで約半日かかっており、とても大変でした。特に印字はコピー機のそばで見守っていたので、他の作業が進まず頭を抱えてまして。この時すでに約2倍の増員計画があったので、社内の指導・教育時間を確保するためにも給与業務をまわせる体制づくりを考える必要がありました。

ー採用の決め手を教えてくださいー

こだわりの給与明細書を実現できたことです。細かな要望にも柔軟に対応してもらえました。おかげでこれまでの給与明細書とのギャップもありません。

また、HCSさんの担当者さんが足しげく通って親身な関わりを持ってくれたことも決め手ですね。

ー工夫した点を教えてくださいー

封入封緘サービスの導入前に給与計算業務を見直したことです。導入前に計算にかかる日数を数日短縮できたことで時間に余裕が持て、スムーズに短時間で給与業務を進めることが出来ました。

ー効果はいかがですか？ー

今の作業時間はデータ送信の5分だけ

です。仮にデータ送信後に内容修正が必要になっても、期限内にデータを差替えるだけで済みます。また、本社から離れた工場にはHCSさんからダイレクトに給与明細書を送付しているため、配送の時間を考慮したスケジュール管理が不要になりました。空いた時間を活用して、スキルアップを目的とした研修会の計画・開催も出来ています。人員増加に耐えうる給与業務体制の実現だけでなく、社員教育にも時間を割けるようになり社員全体のパフォーマンスも向上したと実感しています。

ー今後、取り組みたいことを教えてくださいー

帳票の電子化を進めるとともに手動で作業している部分の自動化も進めていきたいと考えています。世の中は常に変化しているので、何もしなければ後れをとってしまうばかりです。今の取り組みが正解か分かりませんが、変化により時間の確保や社員のスキルアップに繋がればひとつの正解といえるのではないのでしょうか。

MOTION & CONTROL™

NSK NSK富山株式会社
日本精工グループ

〒939-1111

富山県高岡市戸出徳市 188-2

TEL 0766-63-7132

FAX 0766-63-7133

https://www.nsk-toyama.co.jp



業務プロセス改革の 未来を描く！

「人手不足を解消できる、具体策セミナー」

生産年齢人口は年々減少し、もっとも顕著な業種では、8割^{*}に迫る中小企業が人手不足を実感。それでも業務を継続していくためには…「販売管理業務」の効率化がカギです。

本セミナーでは、ターコイズ販売管理と ChatGPT 等生成 AI ・他ソリューションとの融合による業務プロセス変革～人手不足解消法をご紹介します。

セミナー詳細を見る

「生成 AI」を今語るなら、この方！

マイクロソフトのエバンジェリスト 佐藤氏が生成 AI の活用法～業務変革のヒントを解説します。講師の詳細は近日弊社 HP にて公開予定！



※ 2022 年、日本商工会議所調べ

HCSのよこがお

営業本部
富山ソリューション営業部

なわた たつや
縄田 龍耶 さん

Q. 業務内容を教えてください。

富山で営業活動を行っています。中でも私は、サーバやインフラ、ネットワーク系の課題を多く解決してきました。専門知識が必要な難しい内容でもお客さまにご理解いただけるよう、分かりやすい表現と話し方を意識。SEとお客さまの橋渡し役になることを心がけています。

今後はより効率的に業務を行い、お客さまへのレスポンスを上げ、もっと頼られる営業になりたいです。

Q. 趣味は何ですか？

ものづくりです。書道の作品やお菓子、DIYなど、とにかく何かを作ることが大好きで、よくものづくりをして休日を過ごしています。特に書道は幼少期から続けていて、これまでもたくさんの作品を作ってきました。今後はものづくりの中でも新しいジャンルに挑戦し、「服」も作ってみたいと思っています。



編集後記

9月に入りましたが、まだまだ暑い日が続きます。先月末にはバスケットボールのワールドカップが開催。日本は共同開催国の1つということもあり、かなり盛り上がったのではないのでしょうか？私も試合を観戦しながらとてもワクワクしました。

さて、本号では「封入封緘サービス」の導入事例をご紹介しました。印刷・封入・封緘から発送作業まで、弊社が全て代行。本事例のように、お客さまの作業負担を大きく軽減できるのが「封入封緘サービス」の特徴です。作業をまるっと削減、雑務を減らすお手伝いをします。ぜひ、ご相談ください。（さわひらき）



12月1日から始まります！
アルコール検知器使用の義務化

先月、警察庁が、検知器使用義務化の施行日（12月1日）を正式に発表しました。

現在、検知器の生産・供給は安定していますが、施行間近には、機器が不足することも。検知器利用に向けた社内ルールの策定も必要ですので、対応をお急ぎください。

HCSでは、9月・10月に「アルコールチェック個別セミナー」を開催予定です。

次の項目に一つでも当てはまる方は、ぜひ気軽にお申し込みください。

- ・アルコールチェック義務化のポイントをおさらいしたい
- ・アルコール検知器を使った具体的な運用方法が知りたい

個別セミナーの詳細を見る



皆さまのご意見をお聞かせください

より役立つ情報掲載のため、皆さまの「気になる」「知りたい」コト、掲載記事のご感想などをぜひお聞かせください。

『HCS Newsletter ご意見箱』への投稿はこちら→



全カパートナー



北陸コンピュータ・サービス株式会社

Newsletter 編集室

TEL : (076)495-9824 HP : https://www.hcs.co.jp/